



かみすげたささのおか

上菅田笹の丘小学校 学校教育目標

自分大好き 仲間大好き

心かがやく上菅田笹の丘小学校

令和8年8月31日

上菅田笹の丘小学校

学校だより 9月号

学校 HP [ホーム - 上菅田笹の丘小学校](#)

今年の夏

校長 廣瀬 ユミ

長い夏休みも終わり、子どもたちの笑顔が学校に戻ってきました。毎日が猛暑で、子どもたちも大変な日々を過ごしてきたことと思います。今年は今までに経験したことのない暑さが続き、気候の急激な変化による台風や大雨の災害、そして地球変動に関係していると思われる地震など環境の変化による大自然の恐ろしさを目の当たりにした夏でした。改めて一人ひとりが自分の身を守るための行動を身に付けておく必要があると感じました。

夏休み明けは、体験したことや学んだこと、感じたことなどを子どもたちと先生とで振り返りながら学校生活に慣れるよう促していく期間です。そして、子どもたち一人ひとりが対話をする中で、成長したことやチャレンジしたことなどを確認し、お互いの理解をさらに深めていきます。これから始まる学校生活、学習面だけでなく、生活面、心情面においてもバランスよく成長して欲しいです。

夏休み明けの朝会で、富士五湖の一つである西湖で初めてカヤック体験をしたことについて子どもたちに話しました。海や川などで遊ぶことがあまり得意ではない私は、カヤックに乗る前に落ちたらどうしようとか、カヤックがひっくり返ったらどうしようなどと悪いことばかり考え、不安な気持ちでいっぱいでした。家族に連れられて来たものの、最初にきっぱりと断ればよかったと後悔の念にかられました。カヤックに乗る前に、アドバイザーから「西湖が一番深いところで70メートルあります。」と説明がありました。それを聞かされた時には恐怖心しかなく、チャレンジすることは止めようと思った。しかし、その方は「ライフジャケットを身に付けていればカヤックが沈むことがあっても人は沈みません。だから、ライフジャケットの一番下のひもはしっかり締めておきましょう。」と安心させてくださったのです。私はその言葉でチャレンジしようという気持ちになり、ずっとカヤックに乗ることができました。そして、カヤックでなければ行くことのできない美しい大自然や、富士山が噴火した時に流れ着いた溶岩の先端を見ることができたのです。人は安心につながる話や安心できるものがあれば、チャレンジしてみようという気持ちになります。そして同じ目標を持っている仲間がいれば共に喜び合うことができ、やってよかったという達成感も生まれます。これからの学校生活の中で、チャレンジしたいのだけれど不安で一步を踏み出せない時があるかもしれません。そんな時こそ、一人ひとりが相手の気持ちを察しながら安心につながる言葉かけができる子どもたちでいてくれたらと願っています。

地域の皆様、保護者の皆様におかれましてはこれまで様々な場面でご協力いただきまして本当に感謝申し上げます。これからも教職員一同、子どもたちのために楽しい学校づくりを目指し邁進してまいります。

